

概要版

第2次

にっぽんいち

三郷市
子ども読書
活動推進
計画

日本一の

読書のまち三郷

推進計画

令和3年度～
令和7年度



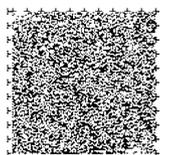
三郷市オリジナル絵本キャラクター
「さつきちゃん」

三郷市マスコットキャラクター
「かいちゃん&つぶちゃん」



© 三郷市 2017

令和3年3月 三郷市



Uni-Voice

1 第2次日本一の読書のまち三郷推進計画策定の背景

三郷市では平成25年3月に市議会での議決を経て「日本一の読書のまち」を宣言したことに伴い、平成28年度からの5か年を計画期間とする「日本一の読書のまち三郷推進計画」を策定し各種読書活動を推進してきましたが、この度、計画期間満了により、これまでの成果と実績、課題を精査したうえで新計画を策定しました。

2 日本一の読書のまち三郷推進計画の成果と課題

成 果

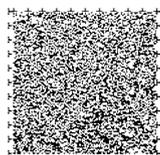
- 三郷市が「日本一の読書のまち」を宣言し、各種の読書活動に力を入れていることが市内外で認知されてきている。
- 学校で文部科学大臣表彰をはじめとする数多くの賞を受賞することができた。
- 三郷中央におどりプラザ予約図書受取カウンターの開設、電子図書館サービス、バリアフリーコーナーの設置により利用者の利便性が向上した。
- 文学講演会、秋の読書まつりの開催により市民が読書に触れる機会が増加した。
- 「全国家読ゆうびんコンクール」の開催と全国からの申込が年々増加している。
- 図書館に対する高齢者層による期待の高まりを受け、高齢者を対象とする事業等の増加につながった。

課 題

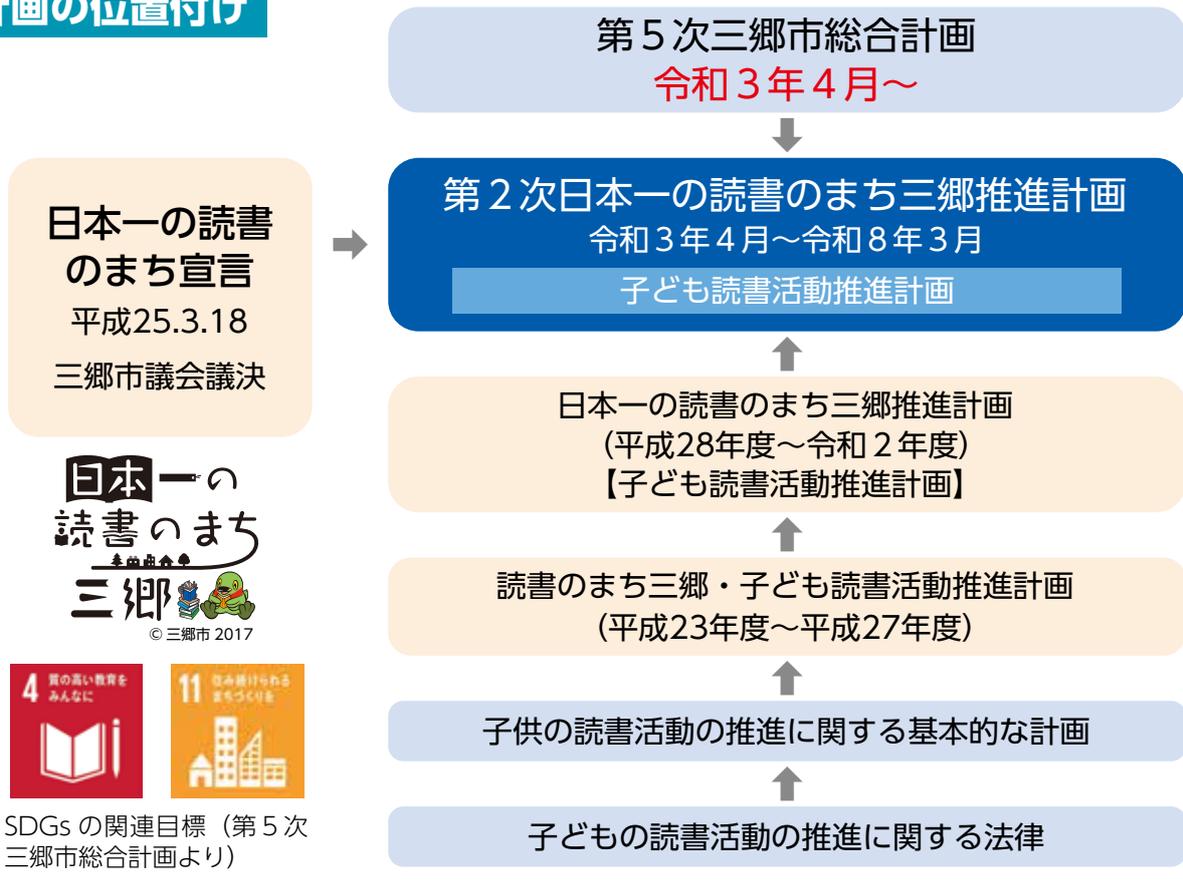
- 「日本一の読書のまち」を宣言する三郷市が、何をもって日本一と名乗っていくのかについて共有するまでに至らなかった。
- 学校での読書活動の充実により各種コンクールでの受賞など、多くの成果を挙げているが、学校以外での市民全体に対する取り組みについて課題が残った。
- 計画全体の主な成果がイベントと事業の開催に重点が置かれているため、計画の基本方針に掲げる「市民総ぐるみの読書活動」、「知の創造」、「ネットワークづくり」についての具体的な成果を挙げるのが難しかった。

3 計画の位置付け

本計画は、第5次三郷市総合計画、「日本一の読書のまち宣言」、「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」、「読書のまち三郷・子ども読書活動推進計画（平成23年度～平成27年度）」、「日本一の読書のまち三郷推進計画（平成28年度～令和2年度）」を受け、乳幼児から高齢者までのすべての市民を対象とする読書推進方策として位置付けるものです。また、持続可能な開発目標（SDGs）についても計画に記載された各施策を通じて達成を目指します。



計画の位置付け



4 計画の策定体制

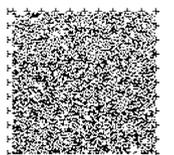
本計画の策定にあたっては、市民関係団体・関係機関の代表者で構成される「日本一の読書のまち三郷関連機関等連絡会」をはじめ、庁内関係各課で構成される「日本一の読書のまち三郷推進関係行政協議会」を諮問機関として検討を行いました。また、市内で活動する読書ボランティアへの聞き取り、各種イベントの来場者に対するアンケート、パブリック・コメント手続による市民の皆様への意見聴取を実施いたしました。

5 計画の将来像

本計画は、「日本一の読書のまち」宣言が提唱する姿を将来像とします。

目指す将来像

読書活動をとおして人と人との絆を結び、
誰もが、いつでも読書に親しみ、
心豊かに暮らすことができる、
文化のかおり高いまち



6 計画の期間

本計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。ただし、社会情勢の変化等、必要に応じて計画の見直しを図ります。

7 計画に記載された各施策の実施主体

本計画に記載された各施策の実施主体については、施策毎に記載していますが、記載のない課、機関、団体等に対しても、読書活動の推進のため積極的に連携及び協力を実施していくものとします。

8 計画の基本方針

本計画によって導く市の将来像の実現のため、以下の3つの基本方針を立てるとともに、それぞれの基本方針を象徴するキーワードを設定します。

どこでも本と出会える環境
地域

いつでもそこに本がある人生
機会

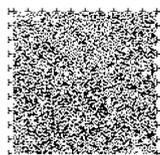
誰でも本を通じてつながる
人

3つの基本方針は互いに連携することで、読書活動全体のさらなる拡大を目指します。

9 計画の対象

本計画の対象はすべての市民としますが、本計画が「子ども読書活動推進計画」を内包する計画となっていることから、子どもの発達段階に合わせて適切な施策を実行できるよう、成人未満については段階的な対象を設定しています。

乳 幼 児	・・・	0歳児から小学校入学前まで
児童・生徒	・・・	小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間
青 少 年	・・・	中学校卒業から成人未満
成 人	・・・	成人から概ね65歳まで
高 齢 者	・・・	概ね65歳から
全 世 代	・・・	すべての年齢階層



10 計画のキャッチフレーズと読書密度について

計画のキャッチフレーズ

日本一「本とふれあえるまち」

三郷市はキャッチフレーズを達成するために**読書密度**を高めます。

読書密度とは3つの基本方針（地域・機会・人）と連動した**三郷市独自の数値**です。

①市内で読書に関する拠点を増やして市民と本との距離を縮めます

読書拠点（※） ÷ 市の面積 = 地域の読書密度 

※図書館、図書室、予約図書受取カウンター、ふれあい文庫、小・中学校、図書返却ポスト、ふれあいブックワゴンの訪問場所等の合計。

この数値により、1 km²の範囲内に何か所の読書拠点があるのかが分かります。
(地域の読書密度が大きくなればなる程、市内に読書拠点多いことになります)



②市内で本と人との出会いを増やして市民が本に親しむ機会を増やします

本との出会い（※） ÷ 市の人口 = 機会の読書密度 

※図書館等での貸出冊数、学校図書館での貸出冊数、各種事業（出張図書館サービス、ブックスタート、らんどせるブックよもよも等）の参加者、各種イベントの参加者、家読ゆうびんコンクール応募数、ふれあい文庫の蔵書数の合計。

この数値により市民1人に対し本との出会いがどの程度あったのかが分かります。

(機会の読書密度が大きくなればなる程、市民と本との出会いが多かったことになります)



③市内で活動する読書と市民をつなぐ人を増やします

本と市民をつなげる人の数（※） = 人の読書密度 

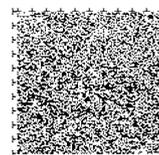
※読書ボランティアの人数、子ども司書の人数、ふれあいブックサポーターの人数の合計。

この数値により、市内に本と市民をつなげる人が何人いるのかが分かります。

(人の読書密度が大きくなればなる程、市民と本をつないでくれる人が多かったです)



今後は各数値の上昇を目指していきます



Uni-Voice

第2次日本一の読書のまち三郷推進

計画の根本

第5次三郷市総合計画

将来像 読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも

基本方針1 どこでも本と出会える環境

地域

1	本の架け橋まるごとネットワークによる知の財産の活用 (ふれあいブックワゴン等)	☆	全世代
2	公共施設等の図書環境の整備		全世代
3	多様性に配慮した読書環境の整備と充実		全世代
4	出張図書館サービスの拡充と特集コーナーの巡回		全世代
5	寄贈本の受け入れとリサイクルブックフェア等の開催	☆	全世代
6	「ふれあい文庫」の設置による読書機会の拡充		全世代
7	学校司書の配置		児童・生徒

☆は今計画で重点的に取り組む施策です

基本方針2 いつでもそこに本がある人生

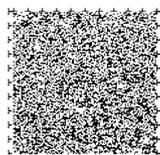
機会

1	レファレンスサービス・課題解決サービスによる支援		全世代
2	図書館の利用を促進するための事業、講座、サービスの実施		全世代
3	ブックコラボレーションの推進	☆	全世代
4	読書活動を促す講座・講演会の開催		全世代
5	郷土資料の収集・整理、市の歴史や文化に触れる機会の充実		全世代
6	ブックスタート事業の実施		乳幼児、成人
7	らんどせるブックよもよも事業の実施		児童、成人
8	小・中学校における読書活動の推進と充実		児童・生徒
9	学校図書館の充実		児童・生徒

☆は今計画で重点的に取り組む施策です

取り組みに対する年齢階層とイメージ

名称	対象となる年齢
乳幼児	0歳児から小学校入学前まで
児童・生徒	小学校入学から中学校卒業までの義務教育期間
青少年	中学校卒業から成人未満
成人	成人から概ね65歳まで
高齢者	概ね65歳から
全世代	すべての年齢階層



計画(令和3～7年度)に関する体系図

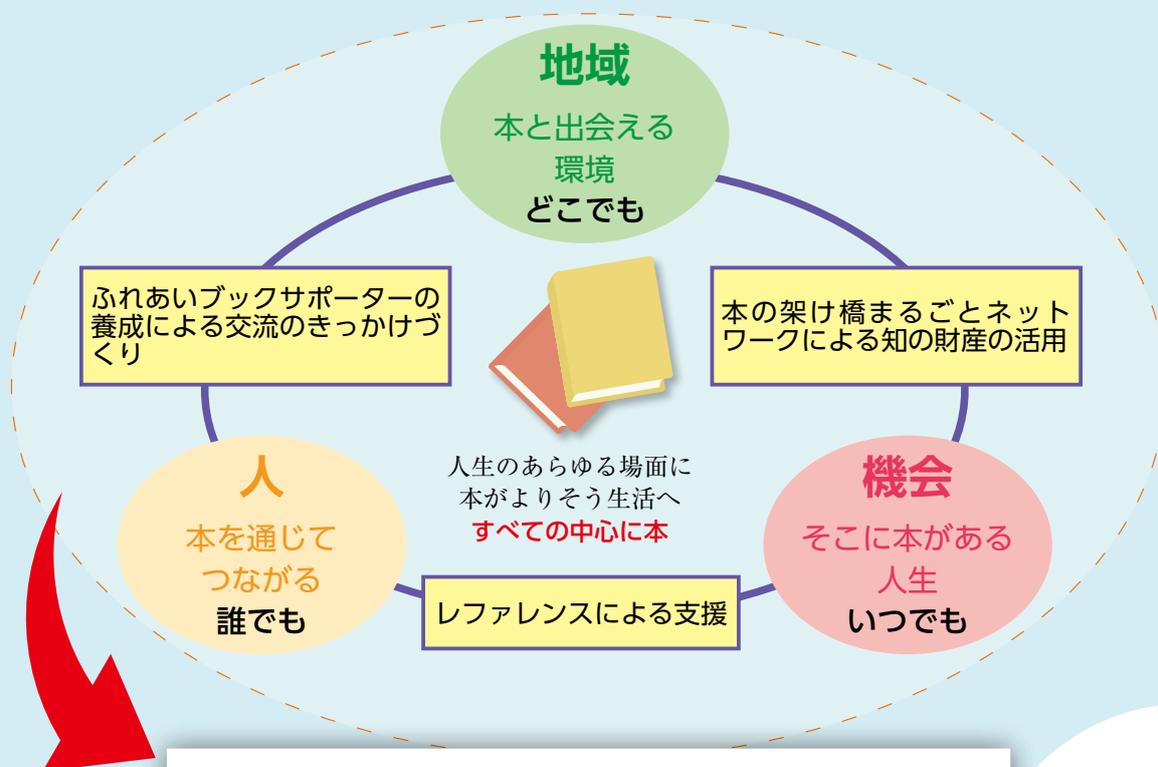
日本一の読書のまち宣言

読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまち

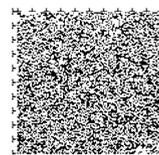
基本方針 **3** 誰でも本を通じてつながる

		人
1	ふれあいブックサポーターの養成と活動支援	☆ 全世代
2	読書活動の周知と情報提供	全世代
3	読書による交流事業の実施	全世代
4	家庭での読書活動の推進	全世代
5	全国家読ゆうびんコンクールの開催と国際交流の推進	☆ 全世代
6	書店・出版社・各種企業との連携	全世代
7	三郷子ども読書週間、読書ウィークの実施と読書フェスティバルの開催	全世代
8	子ども司書の育成と活動支援	児童・生徒
9	読書ボランティアの養成と活動支援	青少年～
10	学校図書館と学校読書ボランティアとの連携	青少年～

☆は今計画で重点的に取り組む施策です



計画のキャッチフレーズ
日本一「本とふれあえるまち」



Uni-Voice



三郷市オリジナル絵本

「かいちゃんをつぶちゃんと ひっこしてきたさつきちゃん」

平成29年1月発行

三郷市マスコットキャラクターであるかいちゃん&つぶちゃんをモチーフとした絵本です。

三郷に引っ越してきたさつきちゃんが、かいちゃん、つぶちゃんと三郷を冒険するおはなしです。



「日本一の読書のまち三郷」の将来像や理念を表すロゴマークとして、平成29年1月の読書フェスティバルで、市民からの投票により決定しました。

このロゴマークは「日本一の読書のまち三郷」をPRするために活用しており、条件を満たせば一般の方でも使用することができます。詳しくは日本一の読書のまち推進課までお問い合わせください。

日本一の読書のまち宣言

読書は、先人の想い、人類の英知を伝えるとともに、みずみずしい感性や旺盛な好奇心を育み、より深く豊かに生きるための力となって、生涯にわたり大きな財産となります。

三郷市は、「日本一の「読書のまち三郷」づくり」をきっかけ、子どもたちに「読書の楽しさ、知る喜び」を伝えるため、家庭・地域・学校・図書館が一体となり、おはなし会やブックトーク、朝読や家読、子どもが感想などを伝えあう読書郵便、市が独自に編集した『言葉の力』、子ども司書の養成、読書フェスティバルなどにより、読書活動を推進してきました。

市制施行40周年の節目では、「全国家読サミット」において、三郷市を全国に向け発信しました。

私たちは、読書活動をとおして人と人との絆を結び、誰もが、いつでも読書に親しみ、心豊かに暮らすことができる、文化のかおり高いまちを創ることを願い、

- 1 乳幼児期から読書の世界に触れる機会を大切にします。
- 1 「家読ゆうびんコンクール」をはじめとし、家読をすすめます。
- 1 三郷の歴史・民話など、郷土を深く知る機会を大切にします。
- 1 図書館などを活用し、読書に親しむ機会を大切にします。
- 1 人と本をつなぐネットワークづくりをすすめます。

ここに三郷市は「日本一の読書のまち」を宣言します。

(平成25年3月18日議決)

第2次日本一の読書のまち三郷推進計画

(令和3年度～令和7年度)

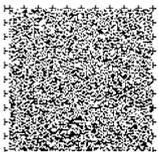
発行 : 令和3年3月

編集 : 三郷市教育委員会 生涯学習部 日本一の読書のまち推進課

住所 : 〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1

TEL : 048-953-1111 (代表)

URL : <http://www.city.misato.lg.jp/>



Uni-Voice